

3/12（土）映画撮影エキストラ参加の感想

■映画の撮影という貴重な体験、その業界に携わることが滅多にない僕が端役として出演できたことは非常に良い経験となりました。初めて見る本物の現場はやはり緊迫感もあり、しかしながらとても和やかで裏方や出演者共々、微笑ましい雰囲気の中撮影していて僕の緊張は次第に解れていきました。

カメラが回った直後の女優さんや先生役の方の演技力には驚きでした。その磨かれた演技に僕は心の中で思わず本物だ！と呟きました。これからもスター女優を目指して頑張っていってほしいと思いました。今回はこんな貴重な体験をさせて頂きまして、本当にありがとうございました。

■この度は貴重な体験をさせていただきありがとうございました。僕自身がこれから映像作品を制作する学校に行くに当たり現場での雰囲気や各々の取り組む姿勢など、学ぶべきところがたくさんありました。

僕らも映画の制作みたいなことはしたことがありますが、本物の現場だからこそ感じられる緊張感だったりその場だからこそ感じられる笑いだったり色々な感情を味わうことができました。自分自身も映像制作にどのポジションで携わるべきかこれから確立して皆様のようなスタッフになれたらと思います。ありがとうございました。

■まず最初に感じたのは貴重な体験が出来たという事です。なんたって、そうそう映画の撮影という物に参加するなんて、特定のバイトか特定の仕事とかでしか、そこまで映る事なんて少ないのですから。

色々な機材が置かれていたりして僕は目をキラキラとさせました。撮影の時は優しい雰囲気があって良かったです。女の子の走りが凄く速かった。陸上か何かの選手らしい？練習頑張ってるんですね。学校も良い雰囲気で、結構好きな感じの学校でした。

■名もなき群衆の見た夢映画撮影、というものに人並みの憧れがあった。その技術を盗み学ぶ場として、だが。私は映像編集者を夢見ている。所詮17のガキの戯言のように聞こえるかもしれないが、これは本心からの夢だ。そして撮影ごとへの興味や関心といったものも人並みにはあるし、それらを見て、糧にできないものかと日頃から思っていた。そんな折に、この話は飛んできたのだ。驚嘆と喜びが私の中で渦巻いた。これはいい機会だ、この経験を糧としよう、そのような心中で当日へと臨んだ。

演技に驚嘆し、設備に驚嘆し、驚きっぱなしではあった。どれだけの手間が準備に掛かったのだろうとも思いました。ただ一つ、明確な事実としてあるのは、この撮影をエキストラとして見ることで、知見を得ることができたということだ。

この体験は縁がなければ得れなかったであろう経験であり、この価値は万金にも値するものだと思う。まだまだ拙く、未熟な身ではあるが、いつかの夢の為、この経験を糧に精進していきたいと思う。

■映画の撮影に参加させていただき、初めて知ることが沢山ありました。例えば、同じシーンを別角度から何度も撮ること、飛行機のエンジン音などの音が入ったら撮りなおしをすること、1つのシーンが何秒なのか数えて全体がちょうどいい長さになるよう計算することなどです。そして何より驚いたのは1つの映画を撮るのにたくさんのスタッフさんが動くという事です。スタッフさんが言うには、この映画はまだ小規模との事なので本当に驚きました。

以前文化祭用に作った文芸部の映画の撮影とは違うところがいくつもあり、次の撮影の時に生かせたらと思います。このように映画のエキストラとして参加させていただくことは本当に貴重な体験だと思うのでこの体験を通していつか作品を書きたいと思っています。

■実を言うと、僕は中学の時に八尾市役所で募集していた映画の撮影に参加したことがあります。といっても8分ほどもので、内容や小道具は自分たちで用意していました。ただ、カメラや編集用のパソコンは監督の方が用意してくださっていて、人の配置やカメラの視点などはプロの方が見てくれていたので、意外としっかりした映画を作ることができました。

そして、今回エキストラとして参加させていただいた時に驚いたことは、テストがあったことと本番を何度も撮っていたことです。ほんの少しでも不具合が出たらそのシーンの最初から撮り直しと言うのは、とても大変なことだと思います。時間がかかると、太陽の位置も変わってしまうので、限られた時間の中であんなにたくさん撮ることができたのは、とてもすごいことだと思いました。主役の人が走るシーンは特に大変だと思いました。僕も中学の時撮った時に長い同じ道を何度も走ったので、ずっと同じように走れるのはとてもすごいと思いました。この体験を次の撮影と、作品に活かしていきたいと思っています。